



会社説明資料

2024年7月14日

株式会社 ミマキエンジニアリング

常務取締役 清水 浩司



証券コード
6638



本資料でお伝えしたいこと

- ❖ 会社概要 / 事業概要
- ❖ 各市場の概要とシェア
- ❖ ビジネスモデルと新しい技術
- ❖ 市場における当社の優位性
- ❖ 中長期成長戦略「Mimaki V10」の進捗
- ❖ 株主還元

会社概要



設立	1975年8月	資本金	4,357百万円
本社	長野県東御市滋野乙2182-3		
代表者	代表取締役社長 池田 和明		
従業員数	連結：2,047名 / 単体：854名 ※2024年3月末現在		
上場市場	東京証券取引所 プライム市場 / 証券コード 6638		
発行済株式総数	32,040,000株 (単元株 = 100株) ※2024年3月末現在		



長野県東御市



▼ グループ会社 (総計29社)

産業用インクジェットプリンタ関連 (計21社)	販売関連 : 14社	欧州	ミマキEUROPE(オランダ) *、ミマキドイツ、ミマキEURASIA(トルコ)、ミマキBompan(イタリア) (*製造事業も展開)
		北米、中南米	ミマキUSA、ミマキブラジル
		アジア・オセアニア	上海御牧、ミマキインドネシア、ミマキシンガポール、ミマキオーストラリア、ミマキインド、台湾御牧*、ミマキタイランド (*製造事業も展開)、ミマキベトナム(2023年6月設立)
	開発、製造関連 : 7社	国内	(株)ミマキプレジジョン
		欧州	ミマキEUROPE、ミマキLM(イタリア)、ミマキリアニア
		中国	浙江御牧、平湖御牧
		台湾	台湾御牧
プリントサービス関連 (計2社)	国内	(株)グラフィッククリエーション、(株)楽日	
アルファードesignグループ (計5社)	開発、製造関連 : 2社	国内	アルファードesign(株)*、(株)アルファードシステムズ* (*販売も行う)
	販売関連 : 2社	中国	大連阿爾法設計有限公司、阿爾法自動化技術有限公司
	金属加工関連 : 1社	国内	(株)砺波製作所
ソフトウェア開発関連 (計1社)	国内	(株)マイクロテック	

1

独自技術を保有し、自社ブランド製品を世界に供給する
「**開発型企业**」を目指します。

2

顧客に満足いただける製品を素早く提供する
「**小回りの利いた会社**」を目指します。

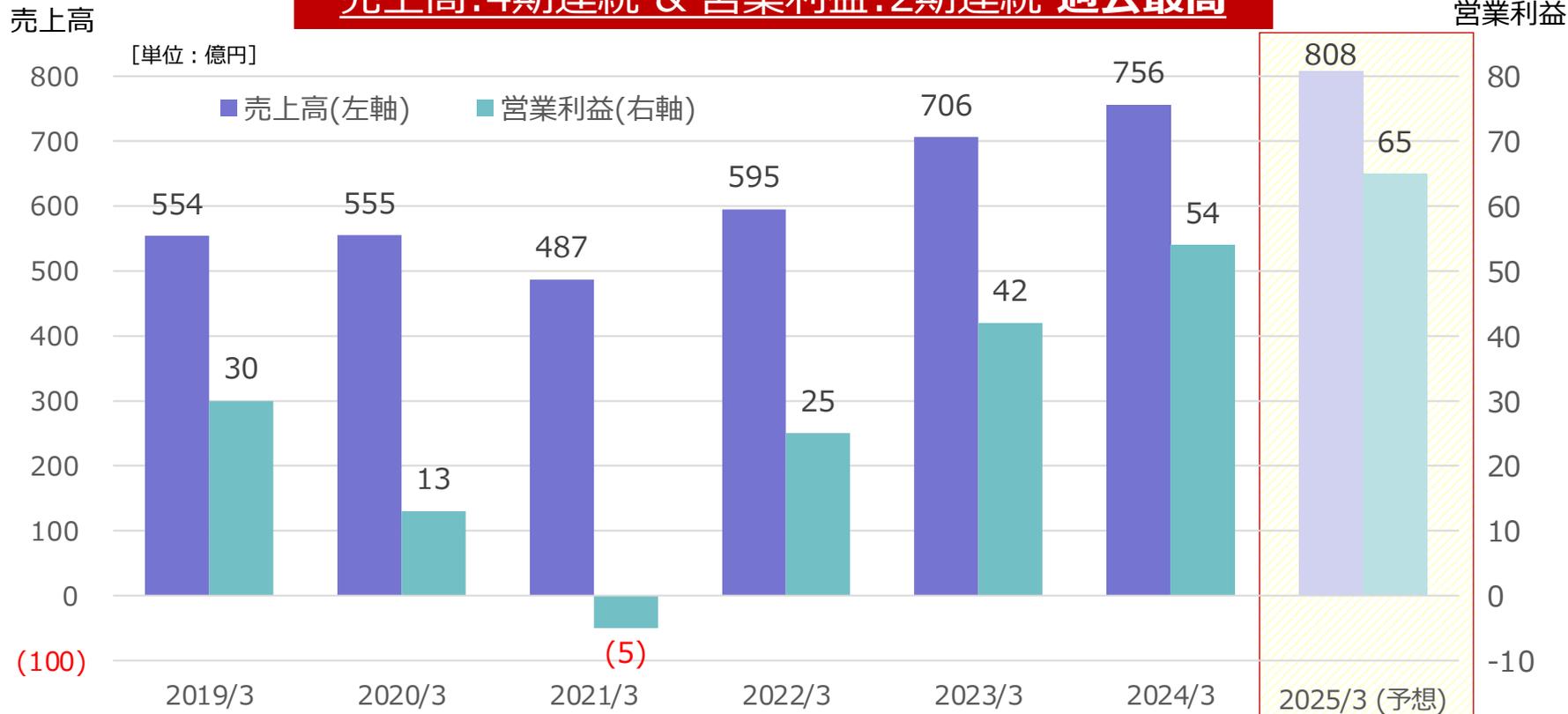
3

市場に常に「**新しさと違い**」を提供するイノベーターを
目指します。

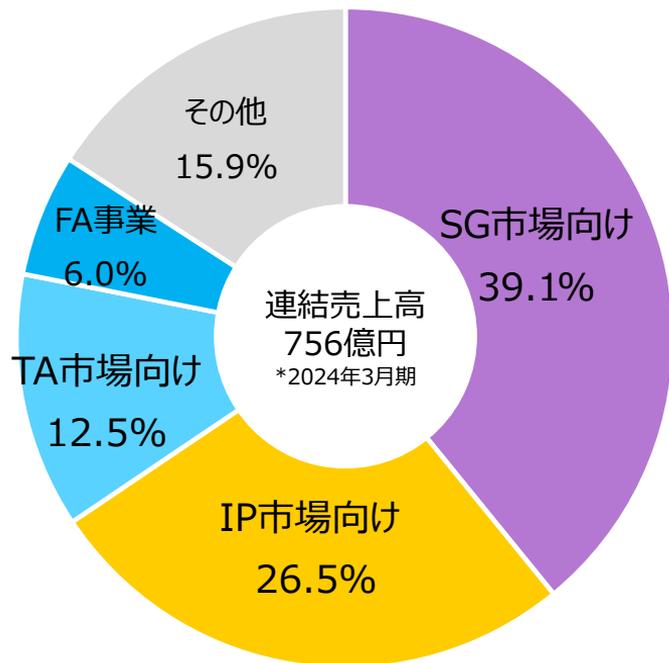
4

各人が持っている**個性・能力**を**力一杯発揮**できる
企業風土を目指します。

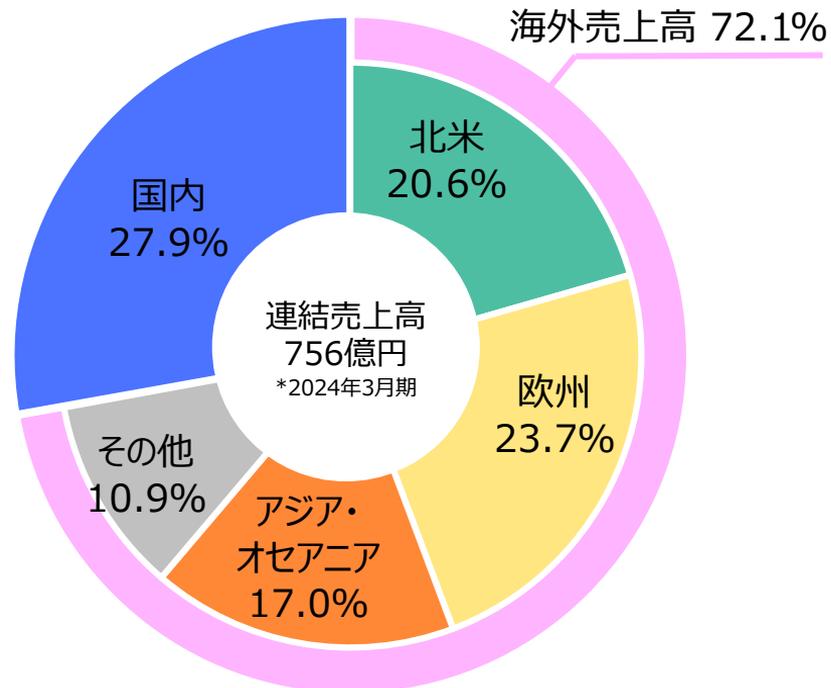
今期(2025年3月期)予想は
売上高:4期連続 & 営業利益:2期連続 過去最高



4つの販売市場でグローバルに事業展開



4つの販売市場



グローバル展開

SG

サイン グラフィックス

Sign Graphics

大型ポスター、カーラッピング、のぼり旗、表示板といった広告・看板等、街を彩るビジネスシーンで活躍している当社の主力製品群。

活用事例



主なプリント素材

- ・塩ビシート
- ・バナーシート
- ・ウィンドウフィルムなど

◆街を彩るビジネスシーンでの活用事例



電飾看板



案内看板 (MWC S)



ウィンドウサイン



壁紙サイン



アスファルト

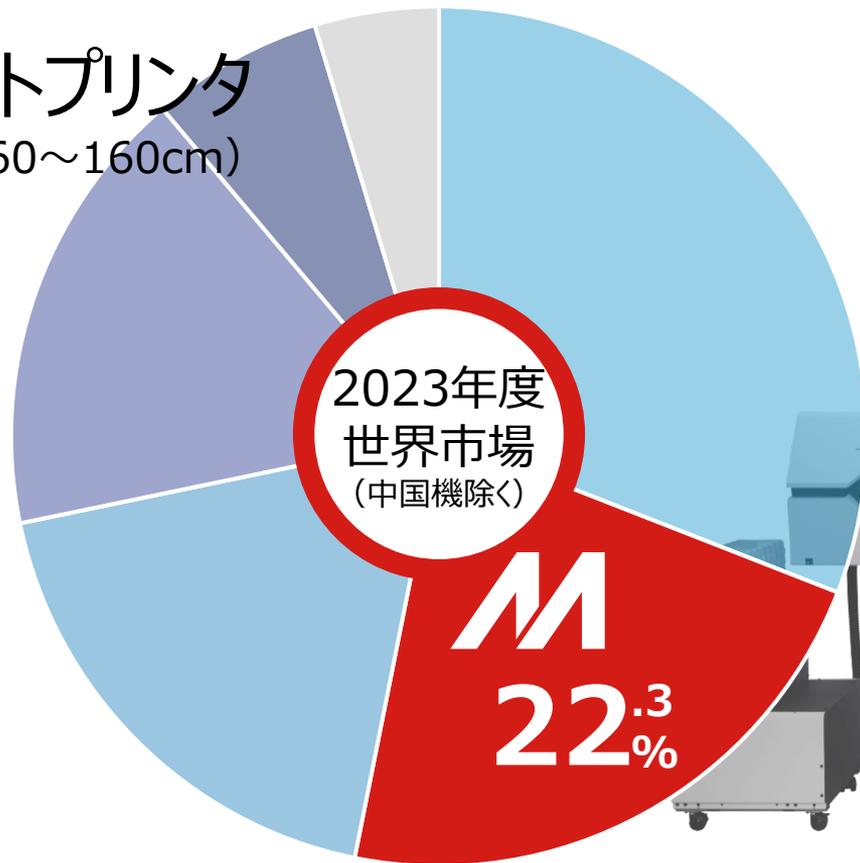


カーラッピング

サイングラフィックス市場向け

大判インクジェットプリンタ

24~64インチ (60~160cm)



※調査会社データに基づく当社推定

IP

インダストリアル プロダクツ

Industrial Products

自動車の計器パネルや家電類の操作パネル等の工業製品のほか、一般消費者向けのギフトやノベルティ、オーダーグッズ等の生産現場等で使用されている製品群。

活用事例



主なプリント素材

- ・プラスチック
- ・アクリル
- ・ガラス
- ・金属
- ・木材など

◆ 工業製品やノベルティ等での活用事例



スマートフォンケース



フロアガイド



ホビー



アクリルキーホルダー



腕時計 (バンド)



メンブレンスイッチ



ブレーキ



スピードメーター

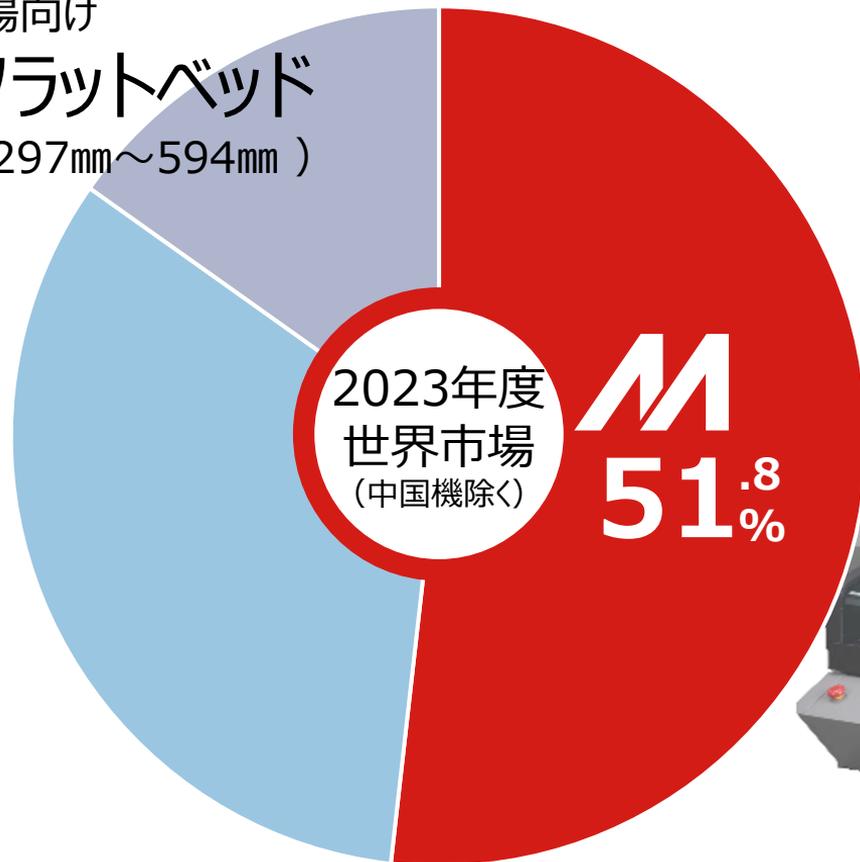


クリスタルトロフィー



紙器パッケージ

インダストリアルプロダクツ市場向け
デスクトップUVフラットベッド
A3~A2 (420mm x 297mm~594mm)



3D

3Dプリンタ

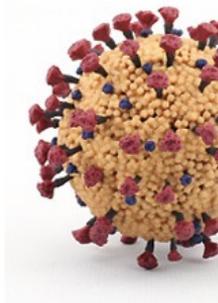
3D Printer

1,000万色以上のフルカラー造形から、高さ1.8mまでの超大型造形まで3Dプリンタによりプロダクトデザインやフィギュア、立体看板で活用されている製品群。

活用事例



研究・医療



建築・設計



試作・見本



3DUJ-553



3DUJ-2207

TA

テキスタイル・ アパレル

Textile & Apparel

裁断・縫製加工前の生地
や既製服などファスト
ファッション・スポーツ
ウェア業界のほか、ファ
ニチャー業界で拡大して
いる製品群。



活用事例



主なプリント素材

- ・ポリエステル
- ・レーヨン
- ・綿
- ・絹
- ・合成皮革など



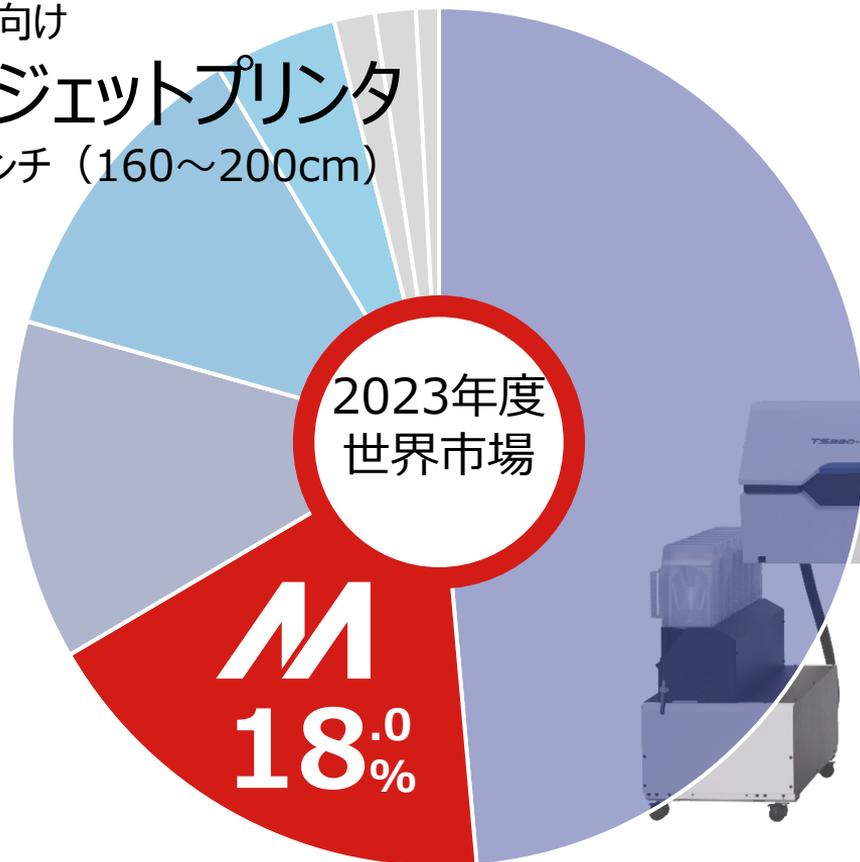
- ◆ 裁断・縫製加工前の生地や既製服、インテリアなどでの活用事例



テキスタイル&アパレル市場向け

昇華転写インクジェットプリンタ

64~78インチ (160~200cm)



FA

ファクトリー オートメーション

Factory Automation

ベクター技術、メカトロニクス技術をもとに5つの事業を展開。オンデマンド型のデジタルコーティングマシンで印刷からコーティングまで生産工程の全自動化にも対応。



紙以外への
印刷



産業用



紙への印刷



オフィス用

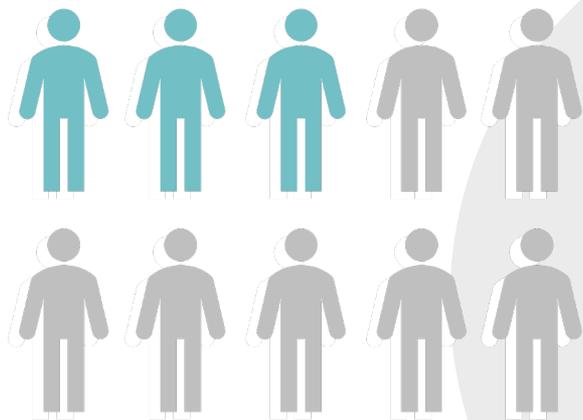


商業用



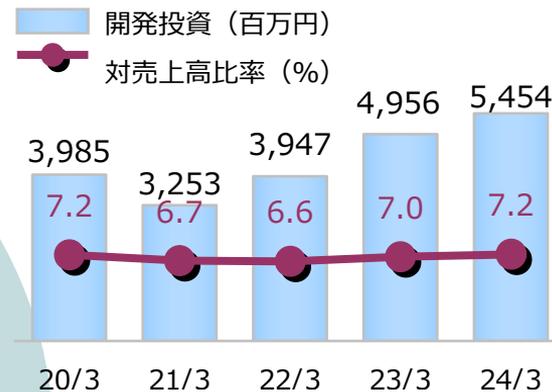
ビジネスモデル（開発投資 / 人材投資）

開発型企業を目指す当社は
人員の **30%** 以上が開発人員

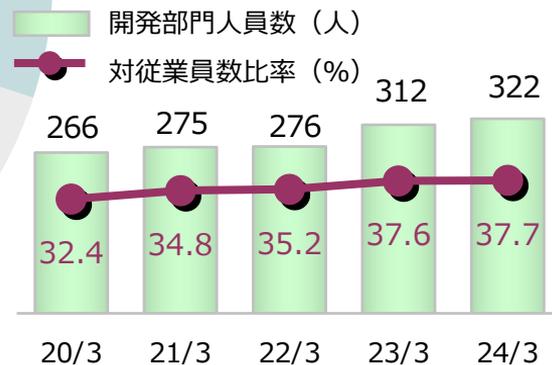


30% 開発人員
70% その他人員

積極的な開発投資



30%の人材を開発部門へ（単体ベース）



サステナビリティ対応の一環として、資源循環型の経営・技術に鋭意取り組んでまいります

これまでも独自のインクジェット技術で、社会・環境ニーズに貢献する**デジタル・オンデマンドプリント事業**の拡大を推進してまいりました。

今後も、デジタルトランスフォーメーション（バリューチェーンを含めた新たな**付加価値につながるデジタル化**）を的確に捕捉し、さらに深化すると思われる無人化・省人化、高速化・高品質化、**無水捺染**等の高度な付加価値につながる社会・環境ニーズにいち早く対応できるように取り組んでまいります。



問題点

地球環境への負荷が大きい産業構造

石油産業に次ぐ量の温室効果ガスを排出し、水を大量に消費する産業

- ✓ アナログ捺染による大量生産、大量在庫、大量消費、大量廃棄
- ✓ 企画→生産→輸送→在庫→販売→利用→廃棄・焼却という長いサプライチェーン
- ✓ 世界全生産量の73%が廃棄・焼却、リサイクル率は12%、リユース率は3%以下※

Mimakiの**サステナブル・プリントソリューション**で環境負荷を大幅に低減

>> アナログ捺染の問題点をデジタル捺染で解決 <<

Mimaki 製品
×
サステナビリティ

「大量生産」から
デジタル・オン
デマンド印刷で
「適量生産」へ

Mimaki 技術
×
サステナビリティ

「廃棄・焼却」から
循環・再利用を
実現する技術で
「アップサイクル」へ

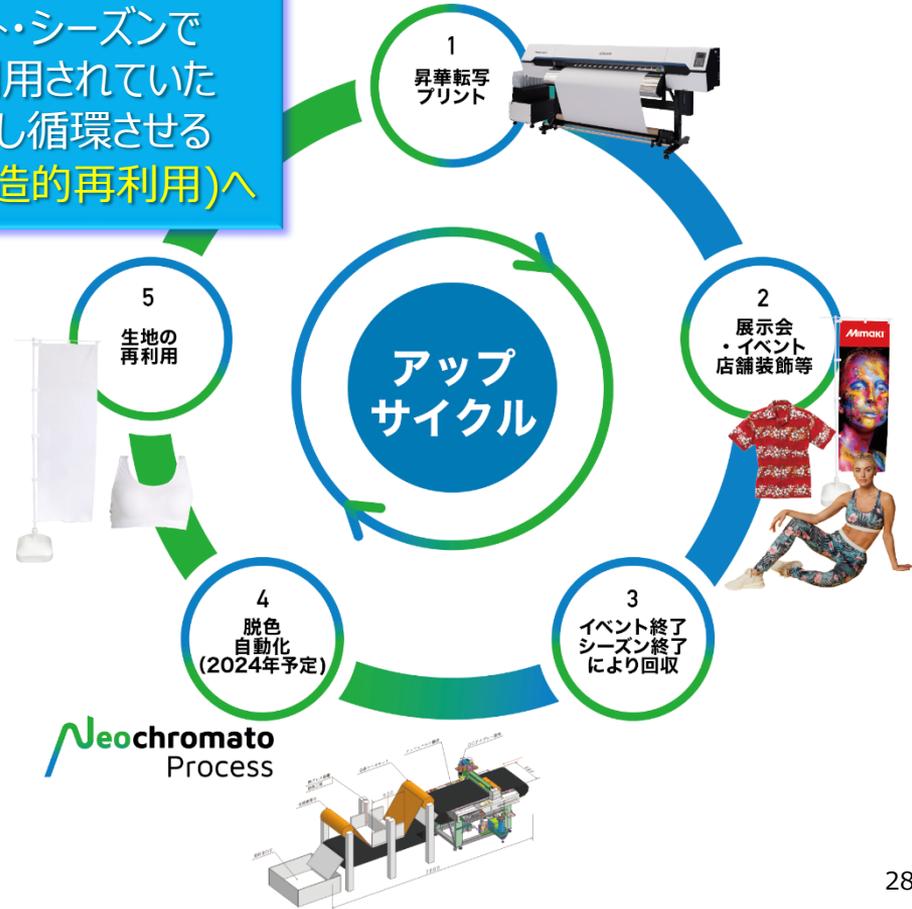
ネオクロマト・プロセス

Neochromato Process

一度のイベント・シーズンで
廃棄or再生利用されていた
生地を再利用し循環させる
アップサイクル(創造的再利用)へ

技術の特長

- 昇華染料(昇華転写)により染色したポリエステル生地の脱色を実現
⇒ 新開発の薬液により**完全に脱色**
- 再生利用ではなく**アップサイクルを実現**
⇒ 脱色した生地に新たな図柄を印刷し
何度でも繰り返し利用可能
- アップサイクルにより、生地の生産・廃棄工程から発生する**CO2排出量を95%削減し工業排水も限りなくゼロに**
⇒ サステナブルなテキスタイル産業を実現



環境にやさしい、次世代テキスタイル捺染システム

排水が出ないプリントシステム

小規模の捺染設備でCO2排出を削減

捺染顔料転写システム

TRAPIS

Transfer Pigment System



従来の印刷方式と比べ※

水の使用量を約 **90%** 削減

※当社独自に調査収集した情報に基づく数値より算出

従来の印刷方式
(反応捺染印刷/デジタル)



前処理 / 印刷 / 蒸し / 洗い など様々な工程で水を使用

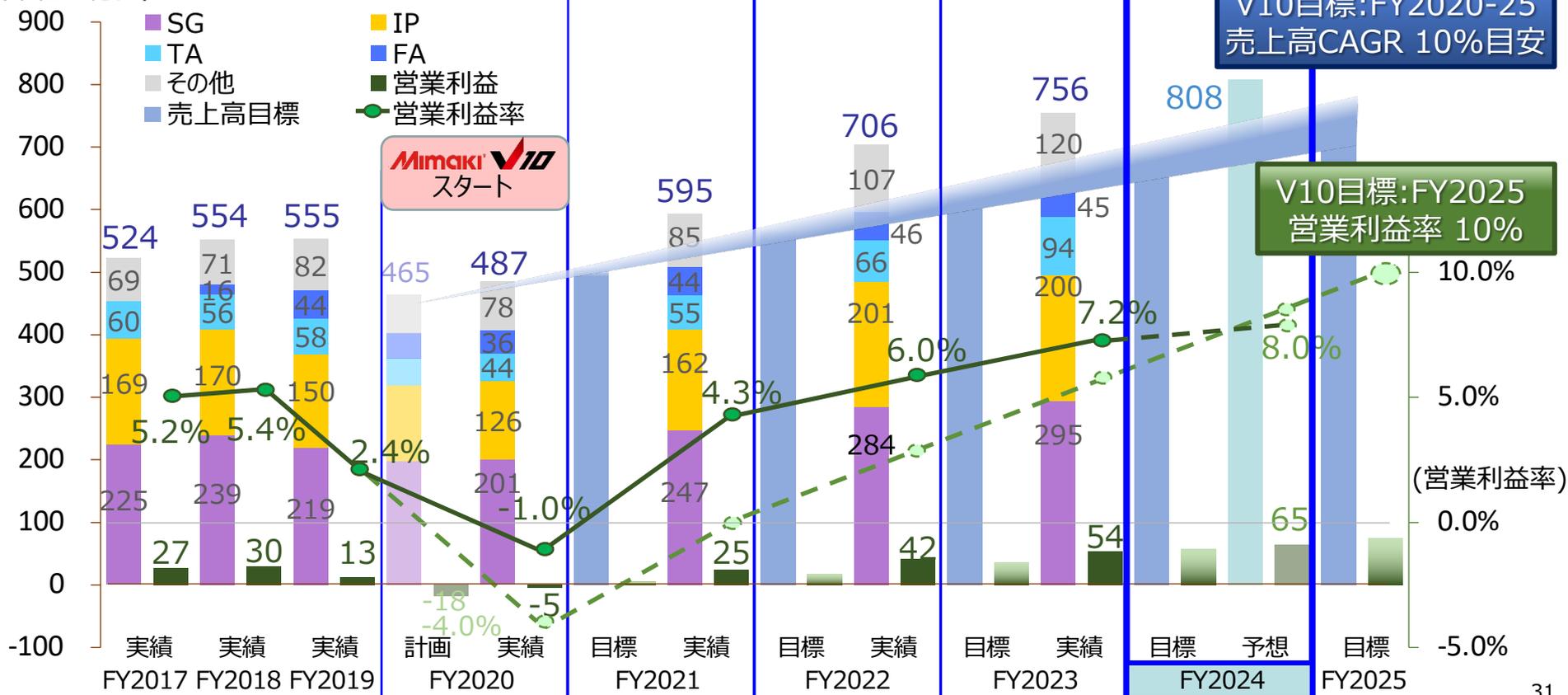
TRAPIS



新方式で水の使用量を大幅に削減

中長期成長戦略「Mimaki V10」の進捗

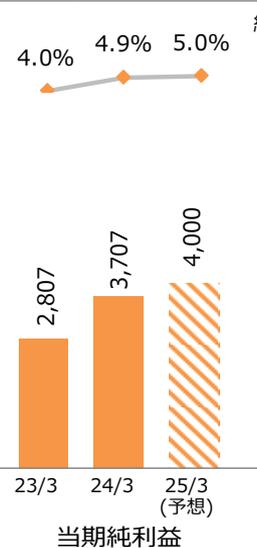
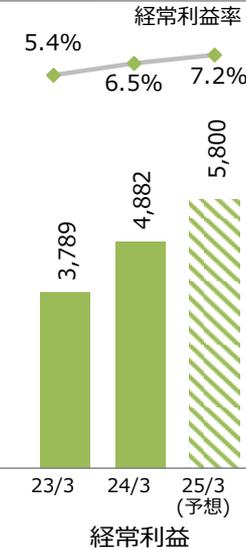
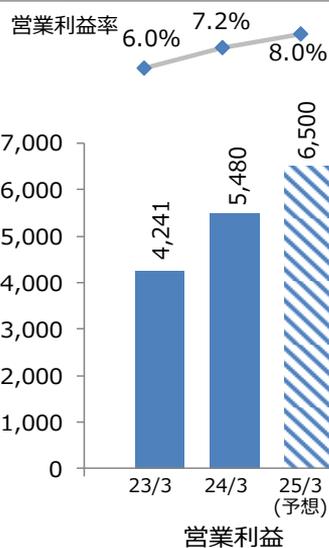
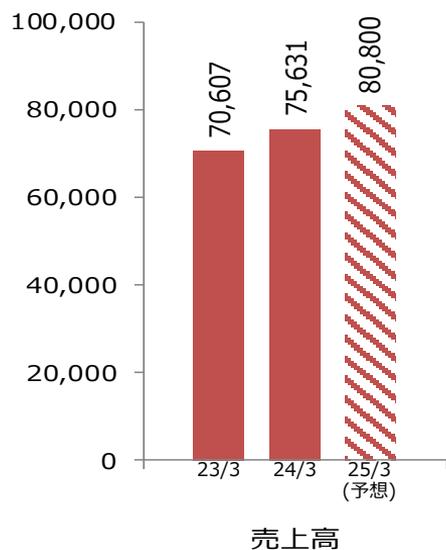
(単位：億円)



連結業績予想ハイライト (2025年3月期)



(単位：百万円)	2024年3月期		2025年3月期									
	通期実績	売上高比率	上期予想	売上高比率	下期予想	売上高比率	通期予想	売上高比率	前期比増減			
									金額	率	率(除為替)	
■ 売上高	75,631	-	39,200	-	41,600	-	80,800	-	+5,168	+6.8%	+9.5%	
■ 営業利益	5,480	7.2%	3,000	7.7%	3,500	8.4%	6,500	8.0%	+1,019	+18.6%	-	
■ 経常利益	4,882	6.5%	2,600	6.6%	3,200	7.7%	5,800	7.2%	+917	+18.8%	-	
■ 親会社株主に帰属する当期純利益	3,707	4.9%	1,650	4.2%	2,350	5.6%	4,000	5.0%	+292	+7.9%	-	
為替レート (期中平均)	米ドル	144.62円	-	138.00円	-	138.00円	-	138.00円	-	-6.62円	-4.6%	-
	ユーロ	156.79円	-	150.00円	-	150.00円	-	150.00円	-	-6.79円	-4.3%	-



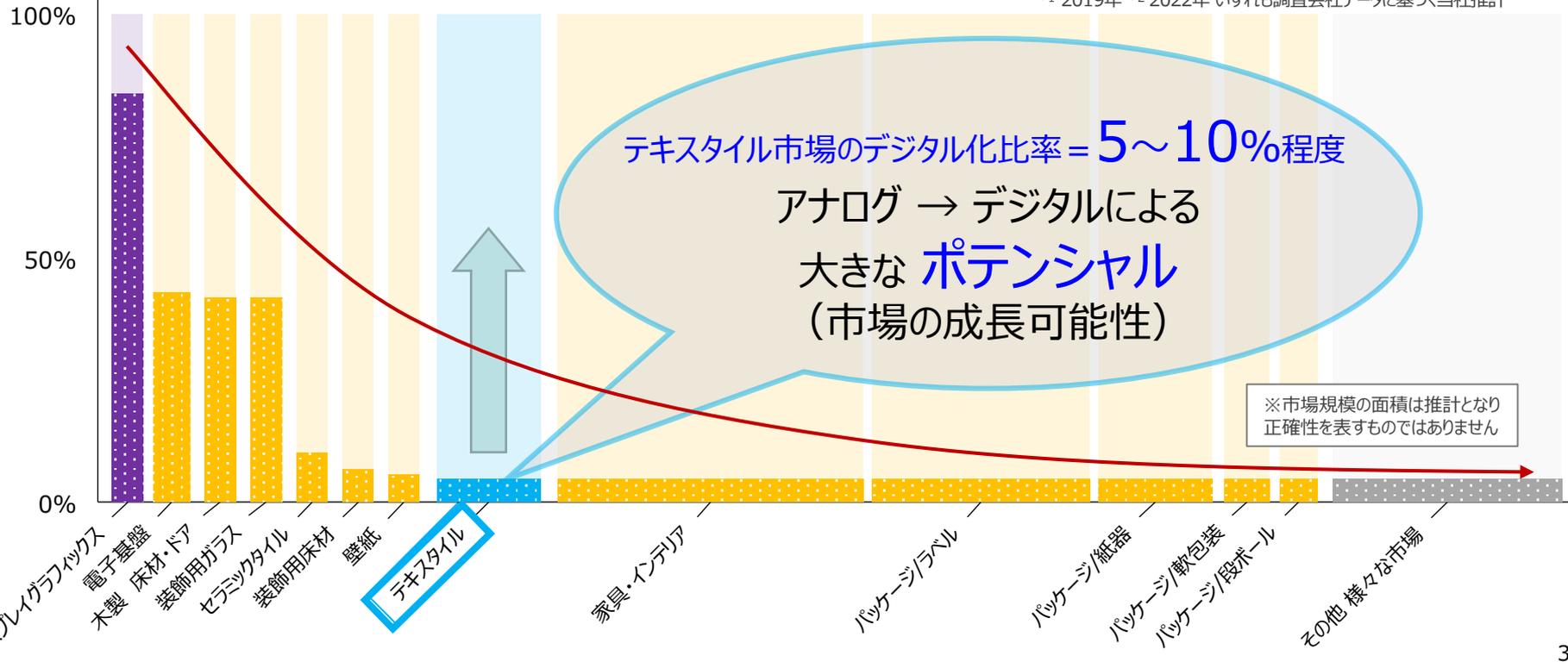
TA市場の成長ポテンシャル

マーケットサイズと
デジタル化*1

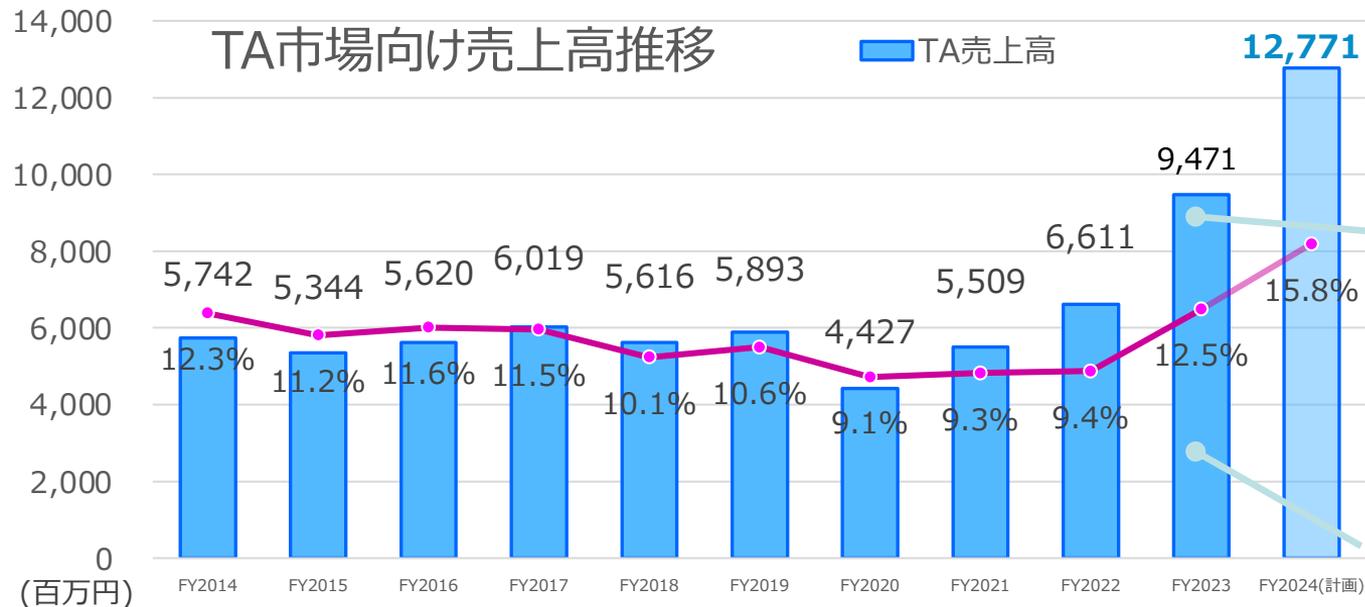
産業印刷のデジタル化は途上
(デジタル印刷世界市場:3.8兆円*2)

デジタル化の進展により
大幅な市場成長の可能性

*1 2019年 *2 2022年 いずれも調査会社データに基づく当社推計



TA市場向け売上高推移と今後の見通し



Tiger600-1800TS



2023/秋販売開始
本体価格:1,500万円(税別)

TxF150-75 TxF300-75



2023/4月販売開始
本体価格(TxF150) :130万円(税別)

- 成長ポテンシャルが高いにもかかわらず、FY2019まで今一つ売上高を伸ばせなかった
- コロナ禍による市場変化を捉え、FY2020以降エントリー機、フラグシップ機の新製品で製品ラインナップを充実、FY2023はDTF機、高生産機により一気に売上高を伸ばし、100億円事業へ
- Mimakiのサステナブル・プリントソリューションで本体設置・稼働台数を伸ばせば、インクの販売も相乗的な伸長が獲得できるビジネスモデルのため、来期以降もより高い売上高成長を目標とする

株主還元の方針

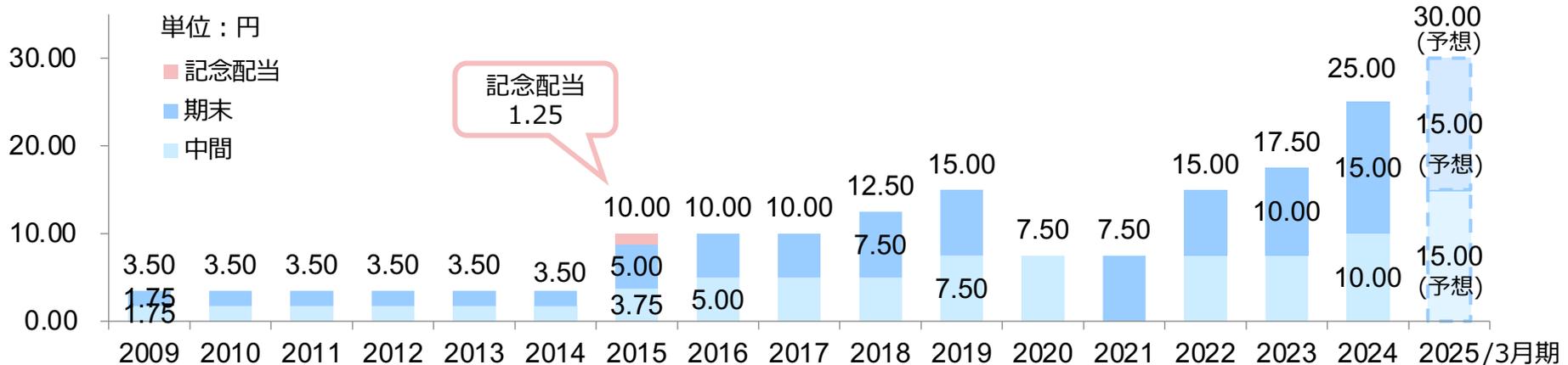
当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、業績の成長に見合った成果の配分を安定的かつ継続的に行っていくことを基本方針としています

■ 2024年3月期(実績) 中間：10.0円、 期末：15.0円

当期の業績及び今後の事業見通し並びに安定的・継続的な株主還元方針等を総合的に勘案し、年25.0円に増配

■ 2025年3月期(予想) 中間：15.0円、 期末：15.0円

今後の事業見通し並びに安定的・継続的な株主還元方針等を総合的に勘案し、年30.0円に増配を予想



※ 2015年3月期の記念配当は東証一部上場に係るものです

※ 2015年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しています (分割前の配当金は遡及修正して表示)

本資料に関するお問合せ先

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

I R 部

TEL (本社) 0268(80)0058

TEL (東京) 03(3442)5035

E-mail mimaki-ir@mimaki.com

〔本資料お取扱い上のご注意〕

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング（以下、当社）を理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。